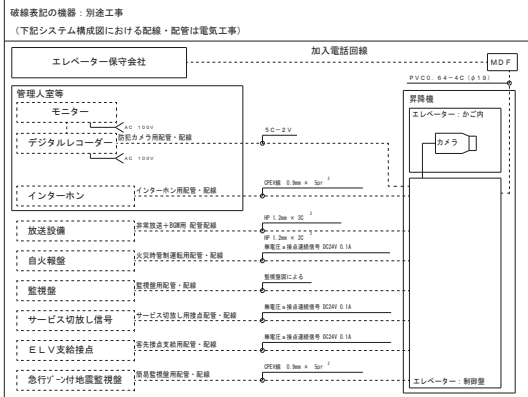


分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	規格型機械室レスエレベーター
	用途	乗用(福祉対応)
	制御方式	可変電圧可変周波数制御(国生なし)
	操作方式	乗合全自動方式(1C-28C)
	積載量(定員)	750kg(11名)
	定格速度	60m/min
	戸閉方式	2枚戸閉引き(00)
	出入口幅×高さ	800mm×2100mm
	かご内法間口×奥行×高さ	1400mm×1350mm×2300mm
	出入口方式	一方出入口
その他	停止数	4層止(1-4層)
	動力用電源	AC3φ・210V-60Hz
	照明用電源	AC1φ・100V-60Hz
	新設設計施工指針階数クラス	クラスA14(2014年度告示対応)
	戸閉走行保護装置(UOMP)	適用(2009年度改正基準法対応)
	セーフティシュー	片側(マルチビームドアセンサー付)
	数値開閉	10mm
	かご呼び取消し機能	あり
	車いす仕様	あり・制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
福祉対応	点字名板	あり・接着式
	音声アナウンス	あり・かご内4ヶ国語アナウンス (通常時:日・英・緊急時:日・英・中・韓)
	聴覚障がい者対応仕様	あり・かご内インターホン呼出応答灯
	地震時管制運転	あり:P波+S波センサー付3段設定(普通線)
	火災時管制運転	あり:火報信号連動式
	停電時自動着床バッテリー装置	あり
	ビット冠水時管制運転	あり
乗場	三方枠	大特来広、鋼板塗装仕上(メーカー標準色) 枠幅:350mm以下(1-4層)
	戸	鋼板塗装仕上(メーカー標準色)(1-4層)
	避難機能	あり:特設防火設備(認定番号:CA5-1247(2))(1-4層)
	数値	アルミ製(1-4層)
	乗場インジケータ	押印・一体セグメントLED(橙色)樹脂フレーム付 (メーカー標準品)プレート:ステンレス(1-4層)
	乗場ボタン(一般・車いす)	ステンレスクリックボタン(φ33・凸文字・黄橙色LED) 抗ウイルス・抗菌コート(メーカー標準品)(1-4層)
	乗場インジ表示灯	あり:休止表示
	乗場休止スイッチ	あり:1F乗場インジケータへ継送



分類	仕様項目	01号機
基本仕様	天井	メーカー規格フラット照明(白色LED) 天井素材:鋼板塗装仕上(メーカー標準色)
	壁	化粧板(メーカー標準品)
	袖壁	ステンレスヘアライン仕上
	出入口上板	化粧板(メーカー標準品)
	戸	化粧板(メーカー標準品)
	巾木	アルミ製
	床	樹脂貼付2mm(メーカー標準品)
	数値	アルミ製
	かご操作盤タイプ	一般用:袖壁取付・車いす用:両側面取付
	かご操作盤フェースプレート	ステンレスヘアライン仕上
安全装置	かごボタン(一般・車いす)	ステンレスクリックボタン(φ33・凸文字・黄橙色LED) 抗ウイルス・抗菌コート(メーカー標準品)
	インジケータタイプ	一般用:液晶式(10.1インチ)・車いす用:ドットLED(橙色) (メーカー標準品)
	換気装置	標準ファンレスエアー(空気清浄機と同等機能)
	手すり	丸形ステンレスヘアライン仕上・二面取付(両側面)
	鏡	ステンレス鏡面フルハイト(巾500)
	キックプレート	ステンレスヘアライン仕上(ビスなし・分割式)H=350
	壁保護罩	磁石式
	床保護マット	あり
	公共建築工事標準仕様	令和7年版に準拠
	インターホン型式	6V1局型
特記	乗場インターホンボックス	あり:鋼板塗装仕上(埋込形)・1箇所
	かご室スピーカ	あり:3線式(非常放送兼用)
	かご内防犯カメラ	あり:カラー式
	同上乗場モニター	15インチ相当露出形・1箇所
	映像分配器	なし
	かご内戸閉延長ボタン	あり:ステンレスクリックボタン(□32・黄橙色LED) 抗ウイルス・抗菌コート(メーカー標準品)
	国際シンボルマーク	あり:各乗場取付・100円・乳白アクリル製、ビス止+裏面接着式
	点字注意銘板	あり:各乗場及びかご内(1箇所)取付 ステンレスヘアライン仕上・ビス止+裏面接着式
	高誤差対策種類	あり:リアクトル対策(K=1.8)
	おもり非常止装置	なし

外部連絡装置(インターホン親機)設置上の注意

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理入室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。
(建築基準法施行令第129条の10第3項第3号)
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。
1. インターホン親機を共用部(エレベーターホールや廊下等)に設置する。
2. 管理入室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、
鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
例えば、営業時間内のみ管理入室等に管理人が常駐するときは営業時間外は建物を閉鎖する。

工事区分表		EV			
工事内容		建築	電気	設備	EV
1	昇降路の築造工事及び各階出入口、乗場機器等の穴あけ工事 (1)エレベーター施工図に對し、コンクリート打の誤差が生じた場合、必要に對し、はつり又は肉付付のこと (2)昇降路壁は5cm2より300mmの外方が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (3)コンクリート強度は21N/mm2以上のこと (4)昇降路の構造は不燃材又は難燃認定材で作るものこと		○		
	鉄骨構造用の以下鋼材設置工事 (1)レール支持用フラスター、中間ビーム及び立柱 (2)三方枠、ハンガー、押ボンの取付用鋼材 (3)数値取付(数値への作用用重に對して、たわみは1mm以下となる部材とすること) (4)鉄骨材の耐火処理及び乗場出入口まわりの耐火処理		○		
	エレベーター機器搬入用のフック又はビームの設置工事				○
	乗場機器取付後の出入口まわりの壁及び床の仕上工事	○			
2	各乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事	○			
	通過間がある場合、非常救出口の設置工事	○			
	2方向出入口の場合、かごドア検口口の設置工事	○			
	ビット防水工事	○			
3	ビット下の使用がある場合、二重スラブ等の建築対策工事	○			
	ビット段差の仕上	○			
	ビットが深い場合、埋め戻し・浅い場合、はつり工事	○			
	昇降路内の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウト及び各種防音・防振工事	○	○		
4	その他建築に關する工事	○			
	動力用電源・照明用電源・接地線の受電端子までの引込工事(電気工事士等含む) (1)電源電圧変動は+5%〜-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと (2)遮断等はインターロック対応のものを使用すること (3)エレベーターから発生する高周波電流電圧と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあるため、対策を講ずること		○		
	昇降路内の煙感知器及び点検口の設置工事 (1)点検口は壁付とし、戸閉時にはエレベーターを停止させること(停止スイッチは必ずV型)		○	○	
	(2)建物に自火報知器がない場合、遮煙ドア適用間のエレベーターホールには火災感知器又は煙感知器を設置すること				
5	インターホン取付位置から制御盤までの配管配線工事	○			
	火災時管制運転がある場合、火報信号の制御盤までの配管配線工事	○			
	エレベーター連動監視用配管配線工事 (乗客の乗降から制御盤までの配管配線)	○			
	その他設備運動に必要な接続配線工事	○			
6	かご内カメラがある場合、モニター設置場所から制御盤までの配管配線工事	○			
	かご内カメラ用配管配線工事	○			
	かご室スピーカがある場合、放送設備から制御盤までの放送用配管配線工事(非常放送がある場合、3線式とすること)	○			
	監視カメラがある場合、監視用電源の監視室までの引込工事及び監視室から制御盤までの配管配線工事	○			
7	昇降路内の電気工事費過部分の防火区画処理工事	○			
	昇降路の換気設備工事 (1)昇降路内温度40℃及び昇降路温度上昇7℃を超える場合、換気設備を設置すること (2)エレベーター機器発熱量 エレベーター駆動機(1100W) +エアーコン(〜W)		○		
	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
8	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
9	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
10	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				
	昇降路の換気設備工事				

エレベーター荷役条件
一度の荷役1質量は【250kg以下】とすること(台車等の質量を含む)

注意事項	
1	昇降路壁には電気・水道管等の配管・器具を埋め込まないこと
2	昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないこと
3	エレベーターの性能維持のため下記環境条件とすること (1)昇降路内の温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90% 日平均90%以下且つ急激な温度変化等による結露・氷結がないこと (2)金属を腐蝕又は変質しない電気伝導の材料等を使用すること ①腐食性ガス:硫化水素ガス、重碳酸ガス、塩素ガス、過酸化水素ガス、 アンモニアガス及び海洋性気中における腐蝕 ※昇降路換気設備の基準例 硫化水素ガス→H2S=0.005 [ppm] 以下 重碳酸ガス→SO2=0.01 [ppm] 以下 硫化水素ガス→H2S=0.05 [ppm] 以下 塩素ガス→Cl2=0.005 [ppm] 以下 (フルサイズの場合を含む) アンモニアガス→NH3=0.1 [ppm] 以下 海洋性気中における腐蝕:海岸より2km以上の地区 ※海岸より2km未満、フルサイズの場合は昇降路内に潮風・ブル 風方向からの風が入らず、乗場が壁外に露出しないようレイアウトとすること ②電気接点の接触部となるもの:鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵 ③腐食性ガス、又は、粉塵・メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、 アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉 (3)エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと (電磁波の電圧強度が10V/m以下の環境とすること) (4)昇降路の設置場所には積雪1000mm以下とすること
4	乗場付近へ風雨吹込む可能性がある場合、対策を講ずること (1)外部から風雨が入らないよう雨水よけ設備の設置 (おとし、風除雪・水勾配・排水・防雨板等) (2)乗場に当たって強風が吹くとき想定される場合、風対策 (風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあるため)
5	乗場及び駆動・制御装置に直射日光(室内ガラス越し反射光を含む) が当たった可能性がある場合、対策を講ずること (センサ駆動作止、及び乗場戸閉形防止のため)
6	エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部関係者から最上層及び最下層エレベーターホールアクセスできる経路を確保すること (個人宅等占有部を越えないこと)
7	昇降路内および各乗場乗場周辺の可燃物(木材・ウレタン等)・ガラスに対しての防火対策を講ずること (発泡ウレタンは溶接の火花に引火する恐れがあるため、昇降路内及び各乗場乗場付近では使用しないこと)
8	製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います 電動機(巻上げ・駆動機):JIS C-2110、2130、 JIS C-4034-1 制御盤:JEM1021、1460 尚、電動機の温度上昇試験は型式試験結果です
9	既設条件・施工作業は「週休二日(4週8休等)」を前提とした期間を 確保させていただきます
10	エレベーターは三菱電機ビルソリューションズ(株)とのメンテナンス 契約が必要になります

つぎの事項を、留意・対応する場合は別途見積りとなります

- 据付工事用現場場所及び材料運搬
- 据付工事用及び試運転調整用電力、セメント、小石等
- 据付工事用の仮設電源(本設電源と同仕様に支給願います)
- 重量物の搬入に支障のない通路の確保
- 構引き距離30mmを超える重量物の搬入
- エレベーターシャフトが隣接する場合、落下物防止面対策・安全対策(ネット等)
- 安全柵の先行取り付け(着工前、先行で取り付けた安全柵の管理も含む)
- 屋外用エレベーターの場合、施工時のガラス部分養生
- エレベーターの工事使用
- 完了検査・引渡(指主)検査以外の現場検査立会の実施
- 標準施工手順と異なる施工(乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等)の発生
- 施工写真の撮影

波賀中学校エレベーター棟増築等工事

SCALE

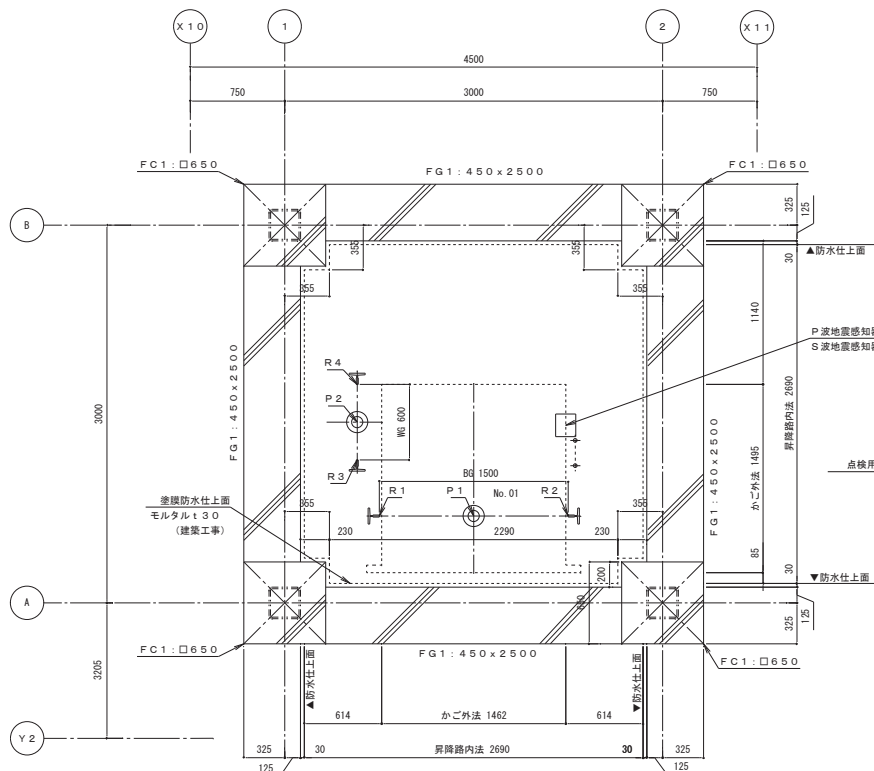
昇降機設備詳細図一(参考図)

株式会社 日匠設計
丹波事務所
一般建築士事務所
113418 高橋 忠男

DATE

N0.

EV-01



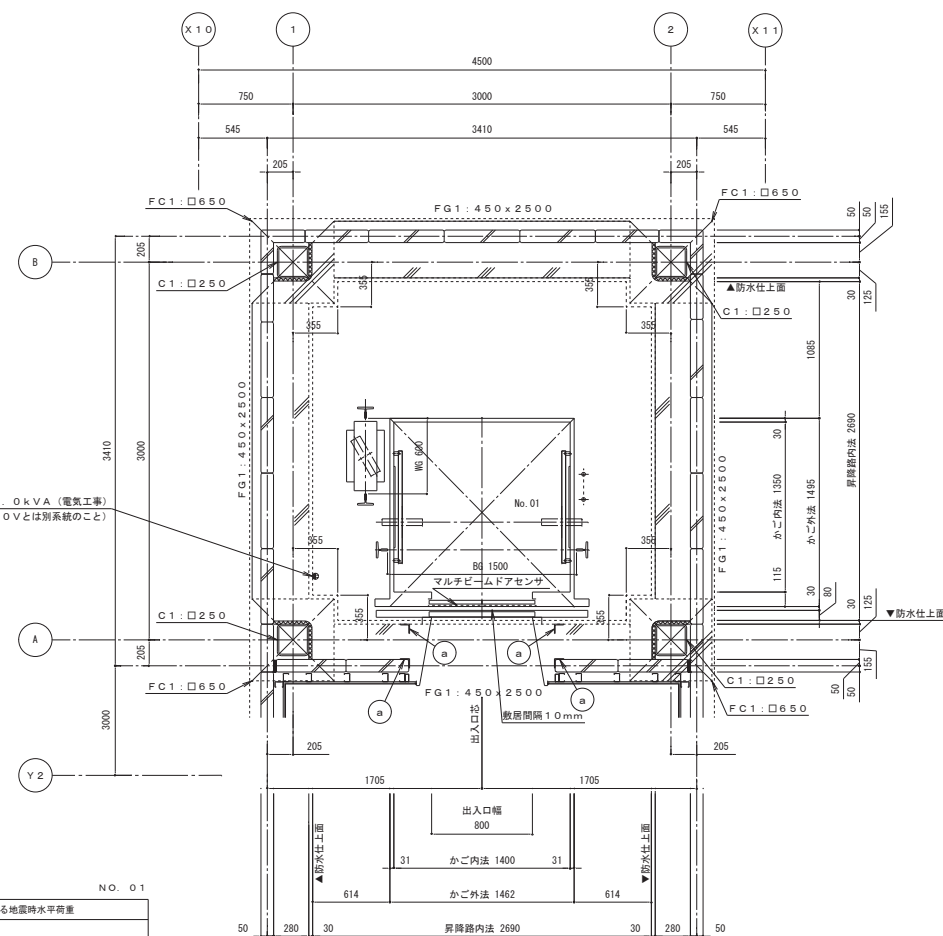
昇降路平面図 (1/20)
(ビット)

ビット荷重 (短期荷重)		レール下端部荷重 (長期荷重)			
P 1 (kN)	P 2 (kN)	R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
9.3.8	79.2	5.9	25.9	46.1	22.3

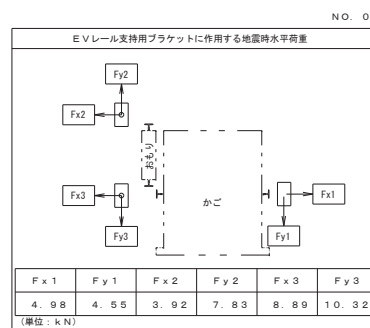
ブラケット取付のため、
ビット内の壁または梁は
裏下地ナシ面まで立ち上
げて下さい。(建築工事)

昇降路機器はビット底面・側面、
梁・壁（コンクリートの場合）に
あと施工アンカーにより取付を行います

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事



昇降路平面図 (1/20)
(1階)



注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付すること。



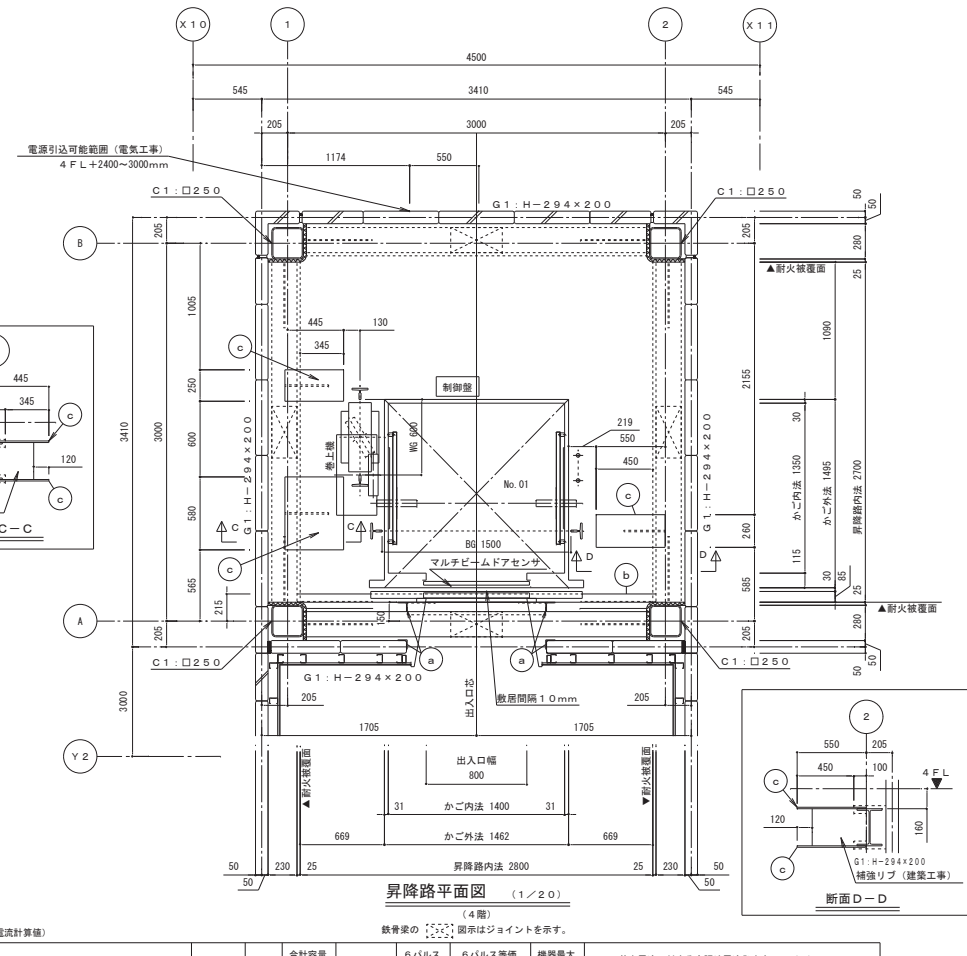
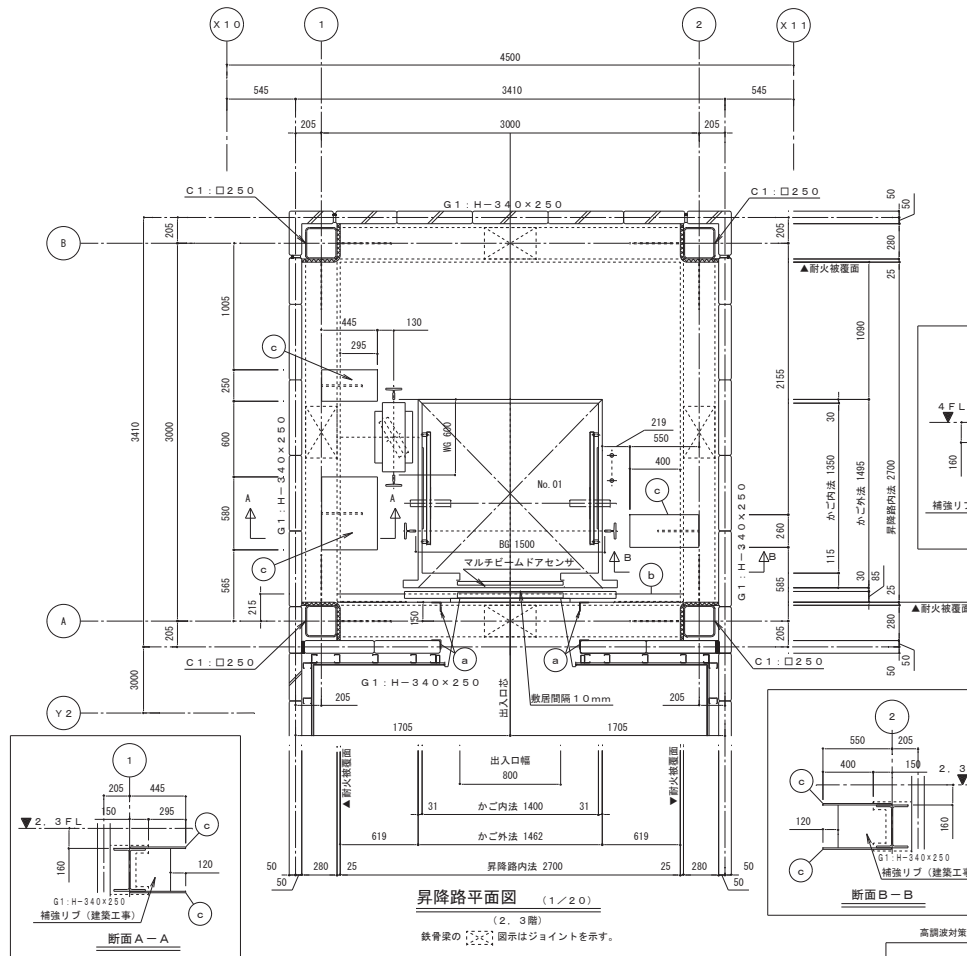
波賀中学校エレベーター棟増築等工事

SCALE

昇降機設備詳細図-2 (参考図) 1/30

株式会社 日匠設計
丹波事務所
一級建築士事務所
113418 高橋 忠男

DATE
NO.
EV-02



動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 (*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210V 60Hz	5.1kW	5kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	62mまで 107mまで 164mまで	8mm ² 14mm ² 22mm ²

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電線引込長さ (mm)	01
動力電線	5500
弱電線	5500

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	[-125×65×6×8	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー (補強リブ付) (2, 3, 4階梁上下、頂部のみ梁下端に取付)	PL-t12	建築工事

高調波対策 (高調波流出電流計算値)

高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K _i)	6パルス等価 容量 [K _i ×P _i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I _n (%)							
	ノイズフィルタのみ (標準)	01号機	6.4	1	6.4	31	3.4	21.7	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.6
○	DCリアクトル追加 (K _i =1.8相当)	AXIEZ-LINKs (750kg・60m/min)				33	1.8	11.5	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策が求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流値は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流値 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^{-3} \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$

※ エレベーターから発生する高調波漏洩電流と高調波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあるため、次の対策をお勧めします。

- (1) エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する。
- (2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する。
(エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要)
- (3) エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする。

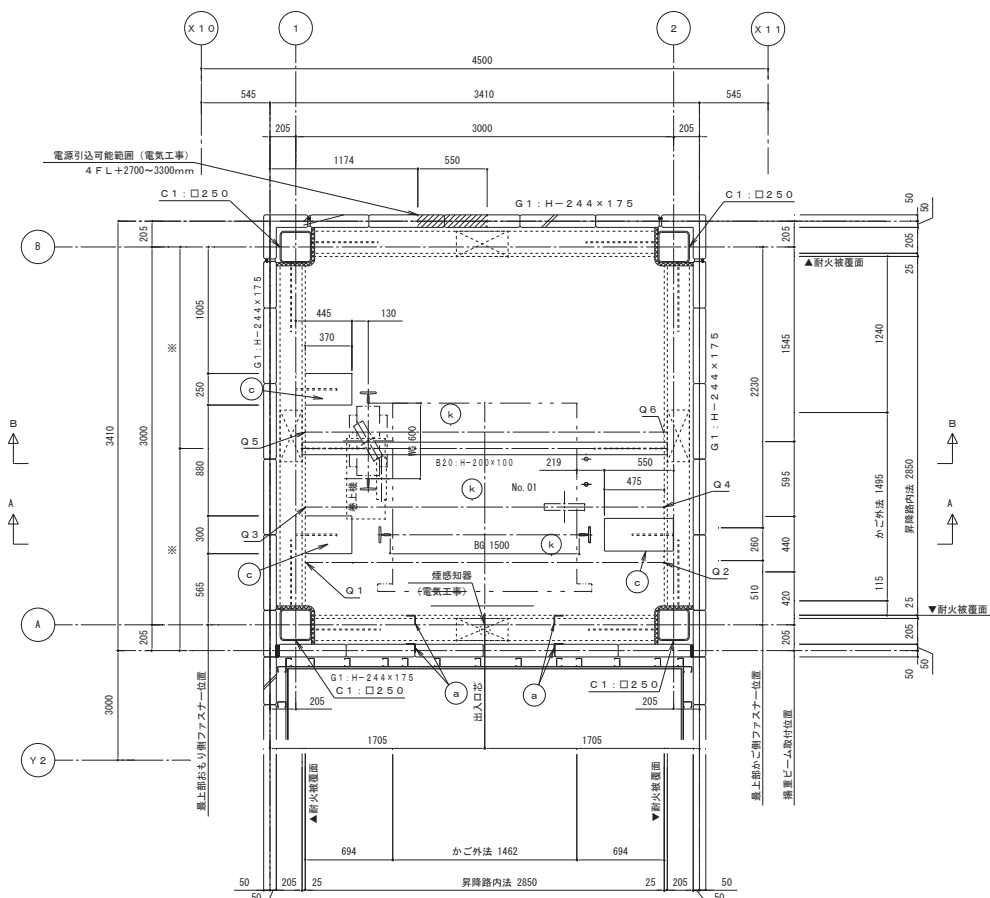
波賀中学校エレベーター棟増築等工事

SCALE

昇降機設備詳細図-3 (参考図) 1/30

株式会社 日匠設計
丹波事務所
一級建築士事務所
113418 高橋 忠男

DATE
NO.
EV-03



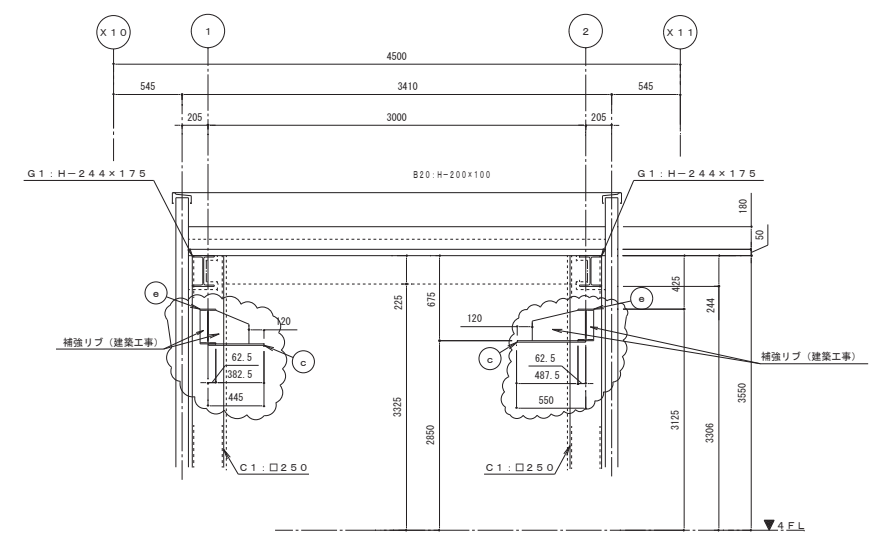
昇降路平面図 (1/20)
 (頂部: B20梁レベル (下端) 4FL+3306
 播重ビームレベル 4FL+3100 (天端)
 ファスナーレベル 4FL+2850)
 鉄骨梁の 〰〰〰 図示はジョイントを示す。

播重ビームに掛かる荷重 No. 01

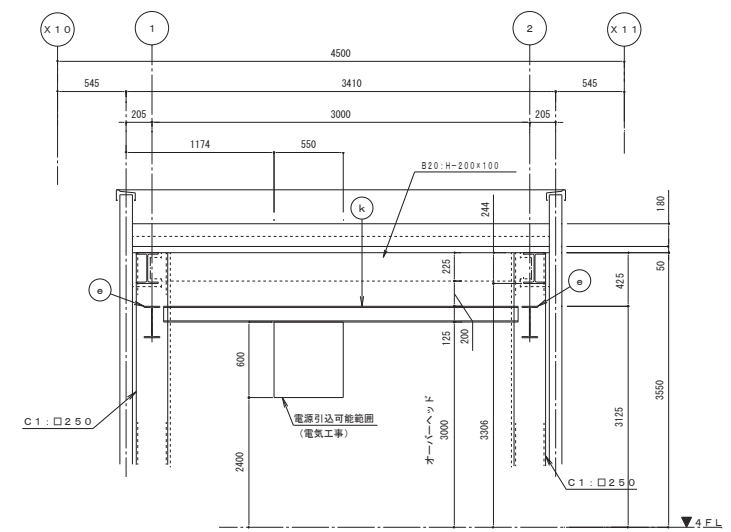
Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
6.0	2.0	8.0	10.0	16.0	11.0

Q1~Q6はEV据付時に作用する

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー (補強リブ付) (2, 3, 4階梁上下、頂部のみ梁下端に取付)	PL-t12	建築工事
e	播重ビーム、ファスナー取付用中間ビーム	サイズは建築構造計算により決定 (仮作図: 250×125×6×9)	建築工事
k	播重ビーム	H-125×125×6, 5×9	建築工事



昇降路頂部断面図 (1/20)
 断面A-A

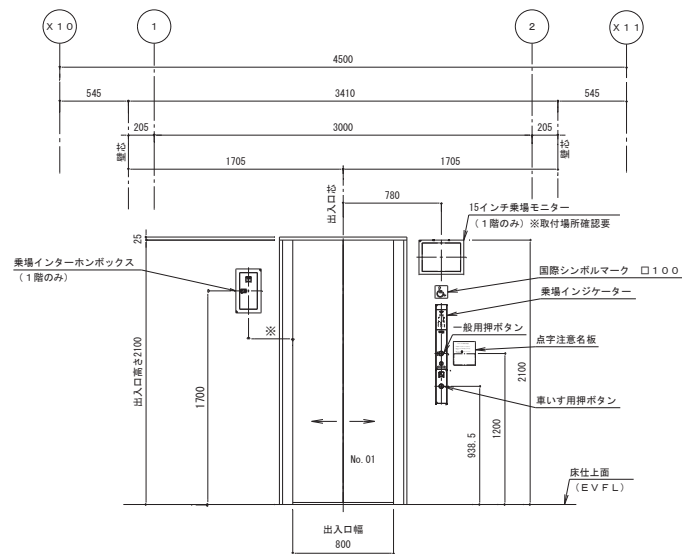


昇降路頂部断面図 (1/20)
 断面B-B

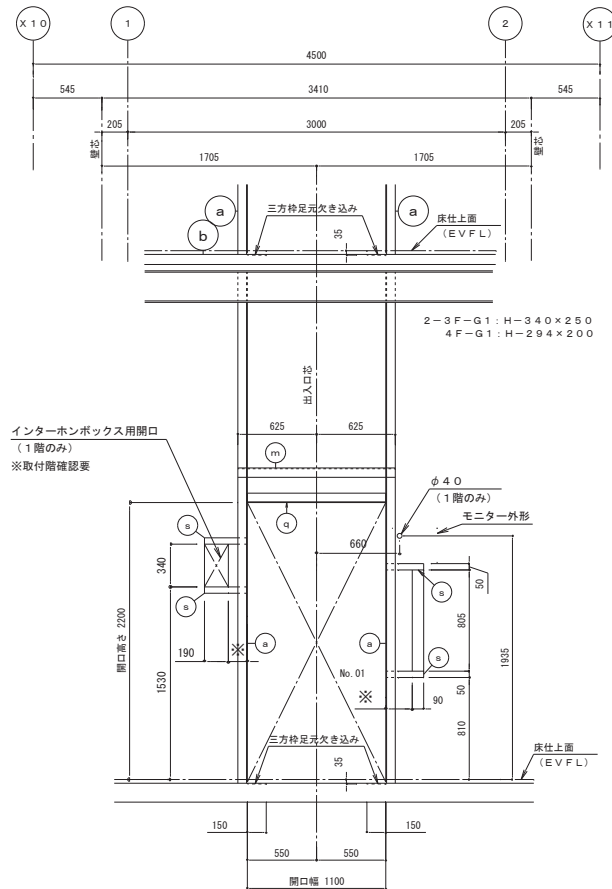


波賀中学校エレベーター棟増築等工事
 SCALE
 昇降機設備詳細図-4 (参考図) 1/30

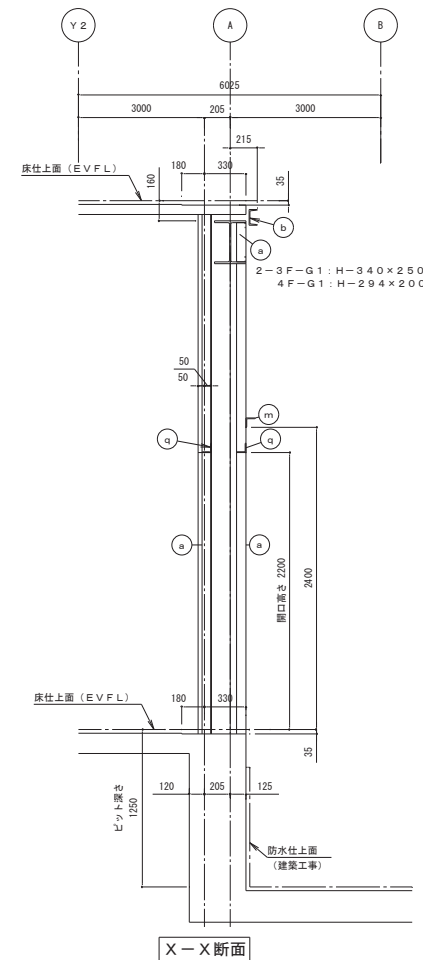
株式会社 日匠設計
 丹波事務所
 一級建築士事務所
 113418 高橋 忠男
 DATE
 N0.
 EV-O 4



乗場正面図 (1/20)
(No. 01号機) (1-4階)



乗場穴あけ図 (1/20)
(No. 01号機) (1-4階)



部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
b	鉄骨取付材	[-125×65×6×8	建築工事
q	開口補強材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
m	ハンガーケース取付材	L-75×75×6	建築工事
s	インジケータ取付材	PL-t3.2	建築工事

波賀中学校エレベーター棟増築等工事

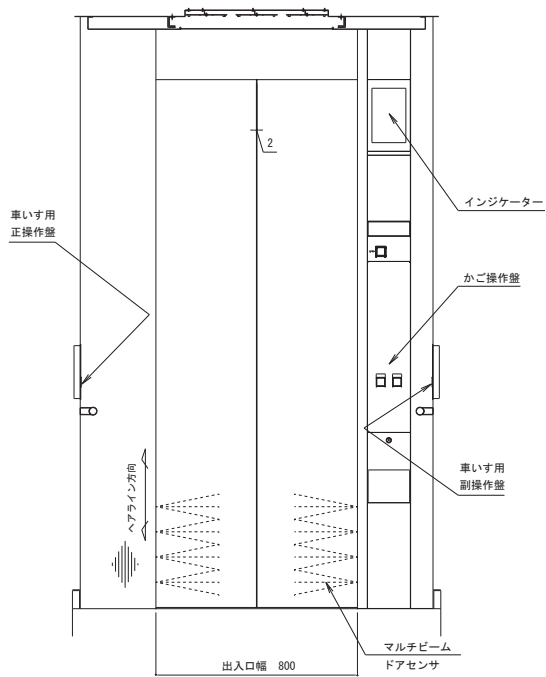
SCALE

昇降機設備詳細図-6 (参考図) 1/30

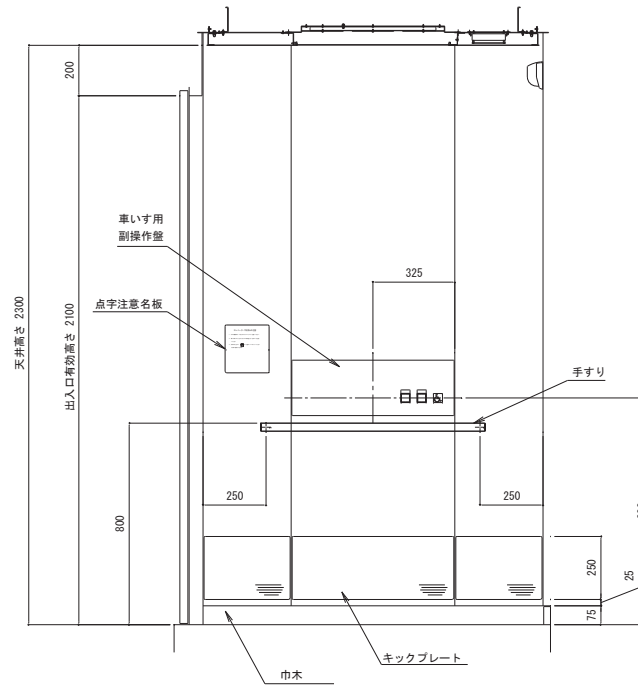


株式会社 日匠設計
丹波事務所
一級建築士事務所
113418 高橋 忠男

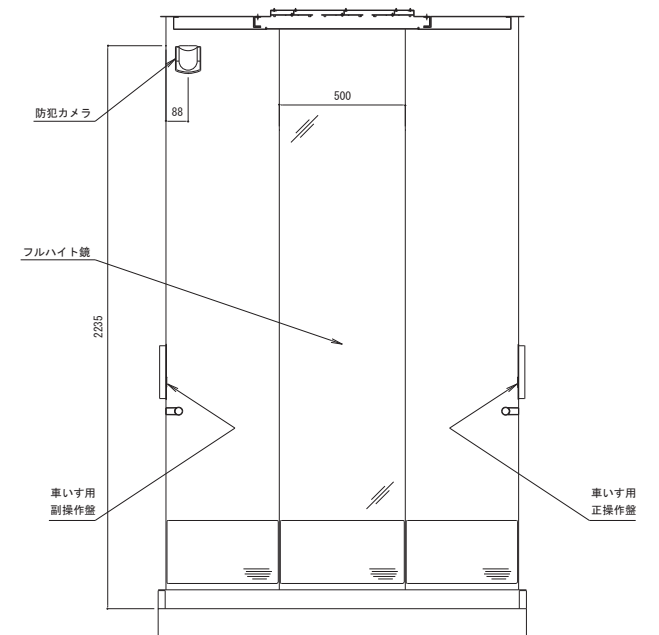
DATE
N0.
EV-06



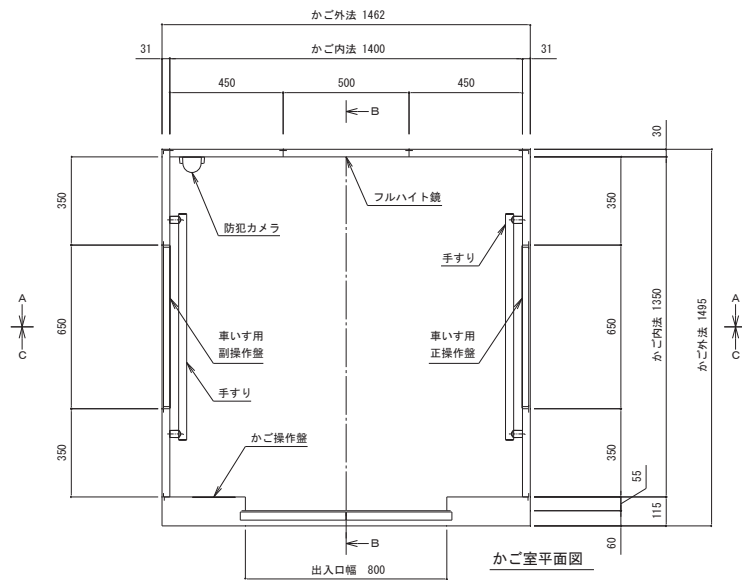
かご室正面図 (矢視 A-A)



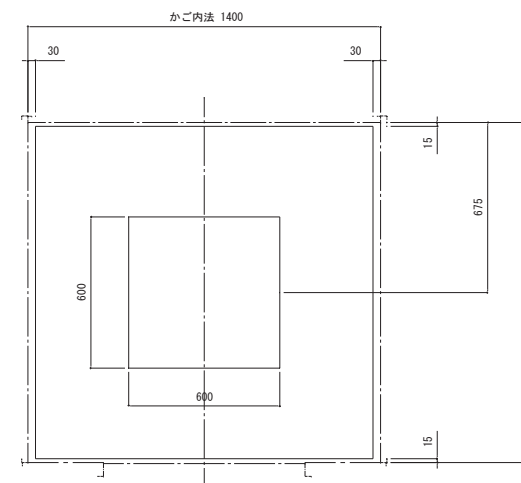
かご室側面図 (矢視 B-B)



かご室背面図 (矢視 C-C)



かご室平面図



天井伏図



波賀中学校エレベーター棟増築等工事

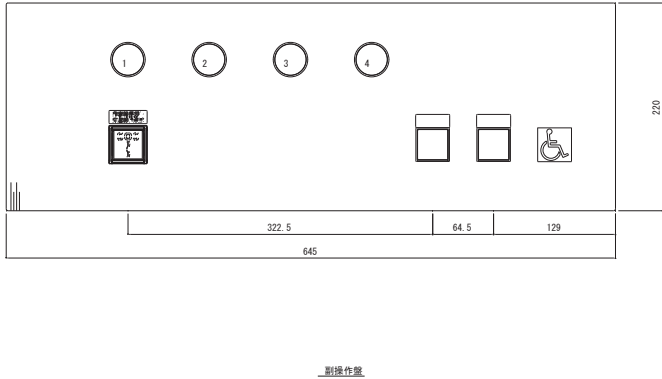
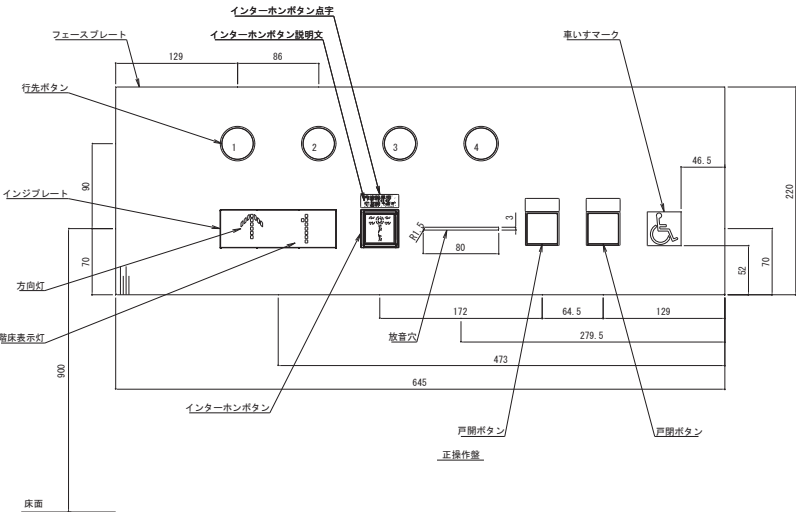
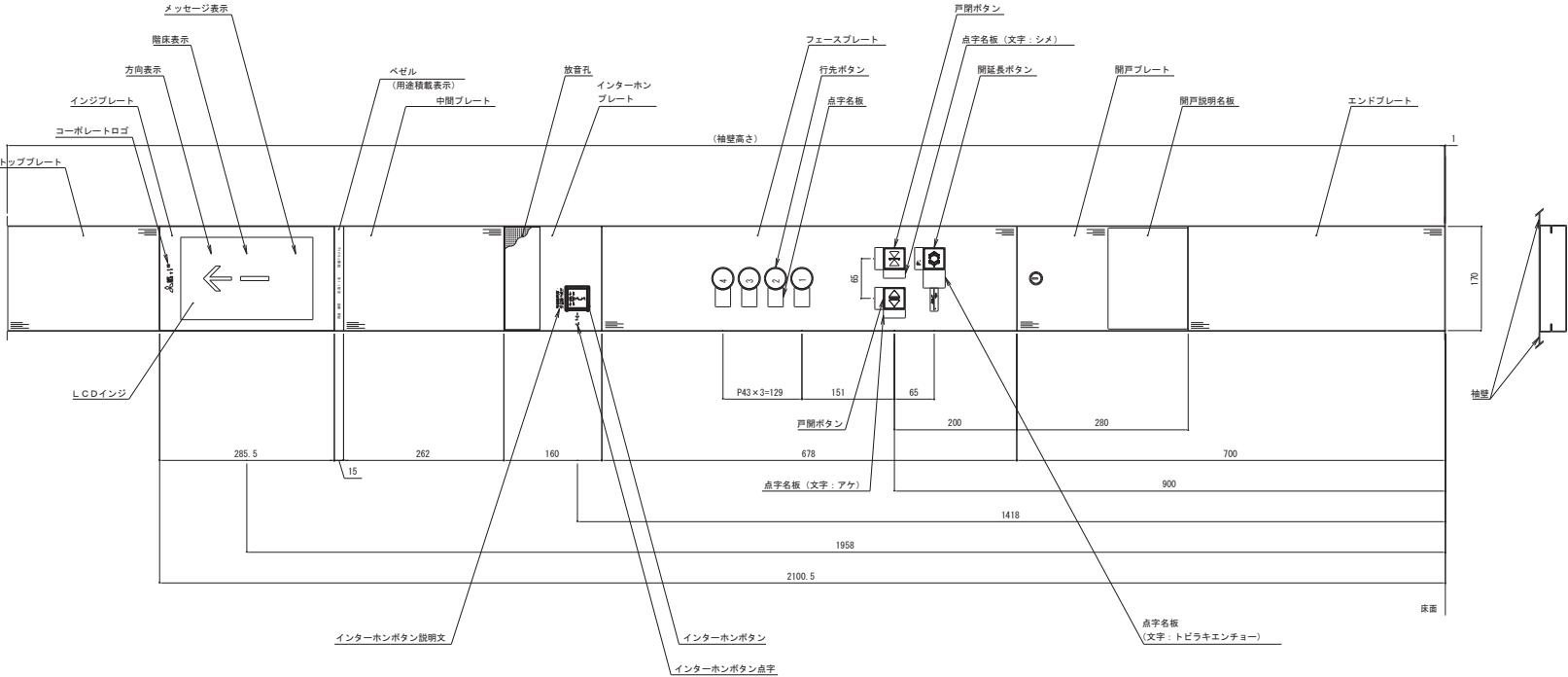
SCALE

昇降機設備詳細図-7 (参考図) 1/15



株式会社 日匠設計
丹波事務所
一般建築士事務所
113418 高橋 忠男

DATE	N0.
	EV-O 7

[illegible]